

## 北谷地区座談会 議事要旨

○と き:平成 22 年 7 月 19 日(月) 19:00～21:00

○と ころ:北谷公民館

○テ ー マ:第5次勝山市総合計画

○出 席 者:17名

◎第 5 次勝山市総合計画について説明(未来創造課)

◎都市計画マスタープランについて説明(都市政策課)

Q1	<p>・中部縦貫自動車道の上志比～福井間の開通はいつになるのか？ また、鹿谷にある勝山インターのほかにも、勝山市内ではインターはできないのか？</p>
A1	<p>・中部縦貫自動車道の進捗状況について、平成21年度末に上志比から勝山まで開通した。国交省によると、大野～上志比間は、平成24年度中、大野～福井間は、平成28年度中の供用開始を目指している。さらにその先の東海北陸自動車道までについては、一部大野の荒島岳に5キロのトンネルを掘る調査を進めている。 なお、勝山市内におけるインターの数は、1つだけである。</p>
Q2	<p>・エコミュージアムとか、ジオパークとかの概念が分かりづらいので、分かりやすい説明をお願いしたい。</p>
A2	<p>・エコミュージアムについては、10年前から取り組んでいるまちづくりの考え方。市民による地域資源の発掘、活用を通じて、市民がふるさとに誇りを持つとともに、地域活性化、持続的なまちづくりにつなげていくというもの。 今後は、エコミュージアムの助成対象事業だけでなく、市民主体の地域資源を1つのモチーフとした取り組みは、すべてエコミュージアム活動であるという方向で、第5次勝山市総合計画の中に、エコミュージアムの発展形、勝山型エコミュージアムというものを位置付けられないかと考えている。 また、ジオパークについては、北谷町杉山にある恐竜化石発掘地から日本の約8割の恐竜化石が発掘されていること、さらに展示、研究施設である恐竜博物館があることなどが決め手となって、昨年、日本ジオパークに認定された。このジオパークも地域の地質、地形遺産を発掘して活用、地域活性化につなげていくという意味において、基本的にはエコミュージアムと同じ考え方である。今後ジオパークを進めていくことで、地域活性化につなげていきたい。</p>
Q3	<p>・勝山の地図を見ても、山林の地面が多い。スギ、雑木を活用できるような施策を検討してほしい。杉山だけでも林道、作業道が7～8000メートルもある。今後は、高齢化で維持が大変になる。作業道を林道に昇格させるなど、総合計画の中に林業をしっかりと守り育てる施策を盛り込んでほしい。</p>
A3	<p>・アンケートの中で多いのは、農業を含めて後継者の問題である。これをどうしていくか、総合計画の中で、方向をきちっと出していく。 なお、山林整備にあたっては、現在の境界をはっきりさせなければいけないという課題がある。所有者がたくさんいる。このことをしっかりと検討しながら進めていきたい。</p>
Q4	<p>・夏においては、特に北谷は夜が涼しい。レジャーなどは東山いこいの森は少し遠い感じがするが、近くではチェーン脱着場にカブト虫を捕まえに来る多くの家族連れなどが来る。</p>

	<p>このように、電灯や外灯などで明るくして夕涼みにこられるような場所があれば、人も集まり活性化につながるのではないかと。</p>
Q5	<p>・杉山通りをライトアップして恐竜模型なども作って、夜の観光スポットとして考えるのも良いのではないかと。そうすることで、イノシシも光の関係で出てこなくなるのではないかと。</p>
Q6	<p>・北谷の自然を活かして、例えば水を売る、雪を保存して夏のイベントに使うなどどうかと考えている。また、空き家を利用して、成器塾(北谷塾)などを作ったらどうか。そこで自然を生かした活動や、お年寄りや団塊の世代が塾で教えるということができないか。儲けるとまではいかないが、自分たちも楽しめるような場所が作れたら素晴らしいのではないかと考える。</p> <p>また、北谷には住民が一斉に集まれる施設が無い。運動会などは公民館の駐車場などを貸しきってという話も出ている。さくら荘でも以前はできたが、いまは施設が拡大されて盆踊りもできない状況である。</p>
A4・5・6	<p>・いろんなご意見をいただいた。現在、北谷地区振興プロジェクトでいまのようなお話をさせていただいている。今日のご意見いただいた中で次のステップとして庁内で具体的に検討して、北谷町全体の再生につながるご提案をさせていただきたい。</p>
Q7	<p>・市のハザードマップについて、冊子でもらうとどこかへいってしまうので、身近なところに貼っておけるような形式にはできないか。</p>
Q8	<p>・北谷公民館に設置してある緊急放送設備について、選挙の放送の時には、河合、北六呂師辺りまでしか音が聞こえないように思えたが、何とかならないか。</p>
A7・8	<p>・ハザードマップについては、各地区で説明している。地域全体として、マップをみなさんそれぞれ分かるところに貼っていただいて、地域のことをお互いに支え合うという意味で周知していただけるとありがたい。</p> <p>・市では、警報が出た場合には各地のパトロールを徹底しており、情報に応じて避難準備情報、避難勧告、避難命令を出すことにしている。それらの伝達の方法として、防災行政無線を市内 24 箇所に整備したが、十分な数ではない。すべての区に建てるのは経費がかかるので、個別受信機のようなものも考えている。自主防災組織が立ち上がった保田地区で試験的にやっていきたい。</p> <p>当面は、防災行政無線だけに頼るのではなく、緊急メールの登録、区長さんへ直接電話、パトロールカーなど、複合的な伝達手段で対応していく。</p>
Q9	<p>・携帯の緊急メールは、発生してから私たちが受信するのが遅い。</p>
A9	<p>・勝山市緊急メールサービスは、特に火災情報について、現場の状況を確認する時間が必要なために時間を要するケースもあるようだ。</p>
Q10	<p>・単に情報提供だけなら良いのだが、例えば私たちの集落内で何か起こって、区長や住民がただちに対処しなければならない場合には役に立たない。</p>
A10	<p>・その場合は、当該地区に対してただちに個別に電話連絡などの対応をしている。緊急メールは、市民への注意喚起、情報提供の為のものである。</p>
Q11	<p>・北谷公民館の場所は、ハザードマップを見ると土砂災害の危険区域になっているが、ここが避難場所になっているのは矛盾しているのではないかと。</p>
A11	<p>・避難場所については、変更すべきことは地域の方としっかりと相談していく。</p>

Q12	<p>・高齢化が進む中、総合計画の実施計画の中では、高齢者が安心して住めるまちづくりというところをしっかりと書いてほしい。昨年の地区別座談会でも高齢者のことについてさまざまな意見が上がっている。</p> <p>北谷は、高齢者が多いことから、公民館学級については、従来地区社協が行っているような、高齢者を中心とした学級が行われている。今後は、福祉と社会教育の連携を考えてほしい。</p>
A12	<p>・市では、平成22年度に地域福祉計画の策定を進めている。教育関係ともしっかりと連携してほしいというご意見を踏まえて、地域福祉計画にもしっかりと対応していきたい。</p>
Q13	<p>・福井社会保険病院の存続について、もう少し詳しく今の状況を説明してほしい。</p>
A13	<p>・存続の方針ははっきりしているが、参議院議員選挙のために前の国会で法案が一旦廃案となってしまう、最終的な着地点が明確でない状況である。</p> <p>国では、9月末にRFOが解散になるため、それまでに法案を成立させたいとしている。厚生労働大臣もこのことを明確に言っている。</p> <p>現在、市として、一日も早い法案の成立を待っている状況。</p>
A (全体)	<p>・地域福祉をどうやって、地域でみんなが支えあっていくかということ、振興プロジェクトもこれから本格化していくのでしっかりと話し合っていきたい。北谷では少子高齢化が進んでいるが、これは地方の全てが抱える課題である。北谷でしっかりとしたモデルを作らなければ、今後の方向性が見出せないことになるので、しっかりと取り組んでいきたい。</p> <p>日本では人口減少だが、世界では人口爆発している。食糧需給率も50～60%といわれている。農林業は大切に守っていかなければいけない。都会の人は、食べ物は当たり前にあるように思っているが、人口爆発で今後どうなっていくかわからない中で、農林業の後継者育成については、しっかりと取り組まなければならないと考えている。</p>

以上